

個性あふれる グローバルリーダーを育てよう Bring Up Global Leaders Full of Individuality

副会長 笹瀬 巖



技術立国としての未来構築において、情報通信技術の一層の発展・利活用が求められており、本会が果たす責務もますます重要になっています。利便性・柔軟性・信頼性の高い情報通信インフラをより一層整備・構築することはもちろん重要ですが、これからは、パーソナル化・カスタマイズ化に対するユーザの様々な品質要求を十分に満たし、プライバシーも含めてセキュリティ的にも安心安全であると同時に、文化的薫りが漂う文化的インフラの構築が求められると思います。高度情報化社会では、「独創的アイデアによる創造的技術の研究開発」がより求められ、コミュニケーション力とマルチメディア基盤技術をしっかり身に付けた知的集団が、戦略や迅速性を重視し、各々の個性や特徴を最大限に発揮しながらチャレンジを繰り返すことにより、技術のブレークスルーを生み出すようになるでしょう。このような観点から、私は、これからの技術者には、技術レベルだけではなく、深い教養と研ぎ澄まされた感性が、共に高いレベルで求められることになると思います。

特に、グローバルな国際社会では、高度なコミュニケーション力を持ち、幅広い分野で広くかつ深い知識をベースにした卓越したスキルを有し、新たなテーマに果敢に取り組むチャレンジ精神に富む個性あふれたリーダーが求められます。グローバルに活躍できる優れた人材を育成することは、日本の国力を高く維持し続けると同時に、世界における日本の技術先導力を一層高めるためにも必要不可欠です。そのためには、若い頃からいろいろな物事（例えば、文学・歴史・音楽・絵画・建築・スポーツ・食べ物・ファッション）などに深い興味を持ち、いろいろな国の人と気さくに交流し、教養と感性を磨きながら、世の中で求められている技術ニーズやサービスがどのようなものであるかを、しっかり吟味できる深い洞察力とリーダーシップを身に付けることが重要だと思います。また、企業や大学で活躍している指導者や教育者は、真のリーダーシップを発揮できるグローバルなエリートを育て上げることが、日本の国益のために必須であると認識し、天賦の資質を有する向上心のある若い逸材に対して、その才能を存分に伸ばすことができるよう、日々叱咤激励すべきだと思います。その意味でも、本会は、魅力的な学会活動を通じて、有意義な人材育成の場を提供し続けていく義務を負っており、責任は極めて重大です。私は、副会長として、皆さんと力を合わせて、優れた人材育成の場を提供できるよう精一杯努力していきたいと思っています。

聖書には、至極の福音文が多くありますが、タラント（当時のお金の単位、才能を表すタレントの語源となった）を持っている者が、タラントを更に多くして社会に還元することを責務として自覚した自由人こそ、「エリート」とであると記されています。広い視野と教養に基づくコミュニケーション力によって、情けに報い（情報）、通い合って信頼を深める（通信）より豊かな社会を構築できるよう、「情報通信」に携わっている研究者・技術者は絶えず意識する必要があると思います。さもないと、通信は、心を痛める（痛心）だけの手段に成り下がってしまうでしょう。

私は、大学教員として、「教育の秘訣は、学生を導いて、一方では彼らの仕事に対する愛好心と熟練とを得させ、他方では適当な時期に、何か偉大な事柄に生涯を捧げる決意を抱かせるように仕向けることである」というヒルティの言葉を座右の銘として、一層心を引き締めて研究教育に精進していく所存です。